

●調剤業務

おくすりの飲み合わせが悪くないか、おくすりの投与量は正しいか、おくすり重複して投与されていないかなど、処方内容を確認し、必要に応じて医師に問い合わせ後に調剤しています。また、同じ飲み方のおくすりを一包にまとめることで、おくすりの飲み間違いや飲み忘れを防ぐ工夫、錠剤が飲み込みにくい患者様には、おくすりを粉にして飲みやすくする工夫など行っています。



●注射調剤業務

注射薬では、投与量、配合変化、投与速度、投与方法などを検討し、個々の入院患者様毎に個別に準備し、病棟へ搬送しています。医療安全や院内感染対策から、抗悪性腫瘍薬や特別な栄養剤の点滴(高カロリー輸液)などは薬剤部で無菌調整をしています。

●製剤業務

市販のおくすりだけでは治療が出来ない場合、患者様の症状や状態に合うおくすりを薬剤師が衛生的に調製しています。病院内で審議し承認されたおくすりが作られています。



●おくすりお渡し・おくすり相談窓口

外来患者様に、検査薬、医療材料(自己血糖測定器など)のお渡しを行っております。随時、自己血糖測定器やインスリン注射薬の使い方などの説明も行っております。また、禁煙外来を行っており、薬剤部では、安全に、より確実に患者様に禁煙していただくために、禁煙指導および禁煙補助薬の使用方法などを説明しています。

●病棟常駐業務

当院は平成25年12月から急性期の全病棟に専任の薬剤師を配置し、入院患者さんの薬歴管理・効果・副作用・相互作用のモニタリング、持参薬を含む全てのお薬の管理を行っています。また、検査値や患者様の状態から、正しくおくすりの効果が現れているか、副作用が現れていないかを確認し、薬剤に関する情報を医師や看護師に提供しています。さらに、病棟に置いているおくすりがいつでも安全に使えるように管理することで、リスクマネージャーとしての役割も担っています。

●薬剤管理指導業務

入院患者様の薬歴を管理し、患者様のベッドサイドに直接赴き、おくすりに関する説明や質問(おくすりの効果、飲み方、副作用、相互作用、注意事項など)にお答えしています。病棟でも、より安全で、効果の高い薬物治療を提供するために、おくすりに関する薬物治療の管理を行うのが、私たち薬剤師の務めです。

●PET-CT業務(^{18}F -FDGの検定)

当院では、平成20年1月より、PET-CTを導入しました。薬剤部では、安全に検査を行う為に検査に使用する薬品(FDG)の品質検定を行っています。

●母親学級

当院では、検診を受けられている妊婦の方を対象に、母親学級を行っています。薬剤部では、安心して出産を迎える為に、お薬を使用するときの注意や、喫煙による胎児への影響についてお話しております。

また、アンケート調査を通じて、意見や要望を取り入れ、より良い母親学級を目指して、随時改定を行っております。

●血液浄化センター業務

当院では、平成28年4月より血液浄化センターを新設し、透析を行なっている患者様の受け入れを開始しました。薬剤部では患者様が安心して治療を受けることができるように、院外の薬局と連携を取りながら、おくすりの説明や処方処方の処理、医薬品の在庫管理を行っております。